

世界遺産への道 第39回

国立民俗博物館で展示 沖ノ島祭祀遺跡の模型

千葉県佐倉市にある国立歴史民俗博物館を知っていますか。そこには、一つの部屋を使った「沖ノ島展示室」があります。東京都の京成上野駅から特急で約1時間、千葉県の京成佐倉駅で下車。そこから徒歩15分の場所に国立歴史民俗博物館があります。



千葉県佐倉市にある国立歴史民俗博物館

授の井上光貞さんでした。井上さんは、沖ノ島の調査結果、特に祭祀(さいし)の変遷にとっても強い関心を持ち、この博物館に展示することを決めたそうです。

に、実物大の祭祀遺跡模型に土器や琴、龍頭が出土した状態を復元しています。沖ノ島の祭祀遺跡についてこれほど忠実に復元展示されている場所は他にありません。遠く関東の国立歴史民俗博物館に展示されているという事は、沖ノ島



沖ノ島17号岩上祭祀遺跡の復元模型

祭祀遺跡が日本を代表する祭祀遺跡であることを示しています。関東地区の本遺産の発信拠点として、今後もこの展示を活用していきたいと思えます。

次回4月15日号から、コーナーの名称を「宗像・沖ノ島と関連遺産群・ふるさとから世界遺産へ」に変更し、引き続き、世界遺産へ向けた活動などを紹介していきます。

市民図書館運営計画・後期計画を策定しました

市民図書館では、平成18年度に策定した「宗像市民図書館運営計画」の前期5年間の成果や課題、市民や来館者アンケートの結果を反映した「後期計画」を策定。「人づくりでまちづくりを支援する図書館」を将来像に、次のような施策に取り組みます。

(1) 市民に身近な図書館

- 中央館と分館の整備
- ▽中央館 資料の充実と収容能力向上
- 深田分館
 - ▽郷土の歴史・文化を学ぶための取り組み
 - ▽須恵分館
 - ▽自由ヶ丘地区と赤間地区以外のコミセンでの貸出・返却サービスを開始など
 - 離島での読書推進
 - ▽ブックスタートなど、大島での読書推進事業を市民活動団体と協働で実施など



ブックスタートの様子 赤ちゃんも絵本に興味津々

(3) 地域の情報拠点となる図書館

- 地域情報センターとしての機能の充実
- ▽図書館から市民への情報提供
- ▽計画的に収集した行政資料の閲覧など
- IT技術を活用した情報の提供や地域資料データベース化
- ▽情報視聴コーナーの活用促進とコーナーを活用した情報提供など
- ▽高齢者や障がい者のニーズの把握
- ▽療育施設「のぞみ園」でのおはなし会を継続
- ▽須恵分館を高齢者や障がい者に配慮した施設に整備など

(4) 市民参画を推進する図書館

- 図書館ボランティア受け入れの推進
- ▽読み聞かせ以外のボランティアの育成と導入
- ▽ボランティア連絡会を年2回開催など
- 図書館ボランティアへの支援
- ▽養成講座やフォローアップ講座を定期的に開催
- ▽ボランティア団体への活動の場の提供など
- 「スポーツ」↓「図書館」で紹介しています。
- 問い合わせ先 市民図書館 ☎(37) 1321



ボランティアフォローアップ講座で手づくり人形を製作する受講者

中世の山城跡に建つこの博物館へと上る道の途中には、大分県の臼杵石仏の野外レプリカなどがあり、日本を代表する歴史民俗博物館であることを実感させてくれます。

博物館の展示室に入ると、沖ノ島の祭祀遺跡群の立体模型があります。岩上、岩陰、半岩陰・半露天、露天のそれぞれのボタンを押すと、祭祀遺跡の場所とその年代が表示されます。

また、岩上祭祀17号遺跡の実物大模型は、21面の鏡や鉄器、装身具が出土したままの状態が復元されています。さらに、5号半岩陰・半露天祭祀遺跡も同様



市民図書館分館が利用できるようになります

旧中央公民館の解体工事に伴って休館していた須恵分館仮施設(旧中央公民館図書室)は、3月24日(土)から利用できます。

深田分館(旧アクスス玄海図書館)は、4月1日(日)から利用できます。館内には、郷土文化学習交流館「海の道むなかた館」の開館に併せて、郷土の歴史を学ぶための資料をそろえています。



深田分館の利用は4月1日から

中央館(宗像ユリックス図書館)の2階は、3月27日(火)から利用できます。

詳しくは、市HP <http://www.city.munakata.lg.jp/> 「市内にお住まいの方」↓「教育・文化」